

『銀行業務検定試験 公式テキスト 税務2級 2026年3月受験用』

誤記のお詫びと訂正のお願い

標記書籍におきまして、内容の一部に誤りがありました。誠に申し訳ございません。
お詫びして下記のとおり訂正いたします。

記

◆256頁 <参考>内の②

- (誤) ・耐震・省エネ・バリアフリーの住宅を取得した場合
 $1,000\text{万円 (非課税枠)} + 2,500\text{万円 (特別控除額)} = 3,500\text{万円}$
・上記以外の住宅を取得した場合
 $500\text{万円 (非課税枠)} + 2,500\text{万円 (特別控除額)} = 3,000\text{万円}$
- (正) ・耐震・省エネ・バリアフリーの住宅を取得した場合
 $1,000\text{万円 (非課税枠)} + \underline{110\text{万円 (基礎控除額)}} + 2,500\text{万円 (特別控除額)} = \underline{3,610\text{万円}}$
・上記以外の住宅を取得した場合
 $500\text{万円 (非課税枠)} + \underline{110\text{万円 (基礎控除額)}} + 2,500\text{万円 (特別控除額)} = \underline{3,110\text{万円}}$

◆256頁 [計算例] 内の解答

- (誤) $5,000\text{万円} - 1,000\text{万円 (省エネ住宅)} - (2,500\text{万円} - 900\text{万円}) = 2,400\text{万円}$
よって、 $2,400\text{万円} \times 20\% = 480\text{万円}$
- (正) $5,000\text{万円} - 1,000\text{万円 (省エネ住宅)} - \underline{110\text{万円}} - (2,500\text{万円} - 900\text{万円}) = \underline{2,290\text{万円}}$
よって、 $\underline{2,290\text{万円}} \times 20\% = \underline{458\text{万円}}$

以上